



2022年10月27日

各 位

上場会社 菊水ホールディングス株式会社
 代表者 代表取締役社長 小林 一夫
 (コード番号 6912)
 問合せ責任者 常務取締役管理本部長 齋藤 士郎
 (TEL 045-482-6912)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2022年6月17日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,800	百万円 330	百万円 390	百万円 260	円 銭 31.18
今回修正予測(B)	5,434	631	696	466	55.96
増減額(B-A)	634	301	306	206	
増減率(%)	13.2	91.2	78.5	79.6	
(参考)前第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	4,674	560	591	412	49.59

2023年3月期通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 10,300	百万円 930	百万円 1,000	百万円 680	円 銭 81.55
今回修正予測(B)	11,250	1,200	1,300	850	101.88
増減額(B-A)	950	270	300	170	
増減率(%)	9.2	29.0	30.0	25.0	
(参考)前期実績 (2022年3月期)	10,076	1,033	1,087	709	85.13

修正の理由

1. 第2四半期連結累計期間の業績予想の修正

売上高は、新型コロナウイルス感染症拡大、世界的な半導体、電子部品等の需給逼迫の影響により、営業活動の制約を受けたものの、受注環境は好調に推移しており、当社グループの重点市場である航空宇宙、電池、自動車のCASE(コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化)、サーバー・ICT(情報通信技術)関連市場、並びに半導体関連市場、5G(第5世代移動通信システム)関連市場へ顧客ニーズに合わせたソリューション営業活動を積極的に展開するなど、売上拡大に努めるとともに、原材料の長納期化に対応すべく部品調達活動、生産活動にも努力を重ねてまいりました。

特にグリーンエネルギー政策により需要が拡大している米国や自動車のEV関連需要が旺盛な中国を中心に海外売上高が大幅に増加していることにより、前回予想を上回る見込みとなりました。

損益面につきましても、売上高の増収により、原材料価格の高騰及び円安による仕入コストが上昇したものの、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益とも前回予想を上回る見込みとなりました。

2. 通期の業績予想の修正

2023年3月期の通期連結業績予想につきましては、足元の経済環境は、依然として半導体等さまざまな部品が長納期化していることに加え、円安による仕入コストの上昇、世界的なインフレの加速とインフレ抑制のための金融引き締めなどによる景気後退懸念等、先行きは依然として不透明なものとなっております。一方で、グローバルで需要の回復が進んでおり、製造業全般において活発な生産活動が行われていることから、第3四半期以降も需要は堅調に推移する見通しであります。

このような状況を踏まえ、売上高は前回予想を上回る見込みであります。

損益面につきましても、売上高の増収により、原材料価格の高騰及び円安による仕入コスト等が上昇するものの、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益とも前回予想を上回る見込みであります。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

以上